



小川小 道徳だより

第2号 平成26年10月3日発行

子どもたちの活動の様子から

道徳だよりは、道徳の授業だけではなく、日々の学校生活の出来事を道徳的な観点からお知らせし、ご家庭でもお子さんとの話題にさせていただきたいと思っています。9月も、学校生活や学校行事のさまざまな場面で、子どもたちのすばらしい場面がたくさん見られました。ほんの一部ですが紹介します。

1 年生見学旅行から

「みんなとおしゃべりをしながらお弁当を食べられてうれしかったです。」「みんなと仲良くお弁当を食べられてうれしかったです。」「みんなで食べるお弁当はやはりおいしさ倍増ですね。」「みんなで」やることは子どもたちにとって楽しさを増すものです。そんな体験を今後もたくさん経験させていきたいです。



2 年生見学旅行から

「具合が悪い子のところに行って、荷物を持ってあげました。」楽しい見学旅行中でも、困ったことがある友達のために、さりげない優しさが見られました。また、きちんときまりを守り、行動ができました。バスの中での歌声がすばらしく、ガイドさんからも、お褒めの言葉をいただいたそうです。すばらしいですね。

3 年生見学旅行から

グループごとに、一人一役での活動に取り組みました。班をまとめる班長さんをはじめ、食事係、レクリエーション係、保健係です。仕事の内容を明確にして、大変意欲的に活動ができました。きまりをよく守り、担当してくださるキャストの方にも元気なあいさつができました。

「心のノート」が新しくなりました。



文部科学省から配布されていた「心のノート」が、この度全面改訂され、「わたしたちの道徳」という冊子に生まれかわりました。「わたしたちの道徳」は、子どもたちが道徳的価値について自ら考え、実際に行動できるようになることをねらいとして作成された道徳教育用教材です。本校では、道徳の副読本とともに、授業で併用して活用しています。

改訂の特徴としては、まず、読み物資料が多数掲載されました。学習指導要領に示された道徳の内容項目ごとに「読み物部分」と「書き込み部分」で構成されています。また、学年に応じて、先人等の名言・偉人や著名人の生き方に関する内容が多く取り上げられるとともに、いじめ問題への対応や我が国の伝統と文化、情報モラルに関する内容の充実が図られています。

副読本や「わたしたちの道徳」は通常は学校に置いておきますが、必要に応じて、また長期休業には持ち帰ることもあるので、ぜひその時は目を通してみてください。

